

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 要人往来 米国要人その他

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43339

ホルト陸軍次官補
ライオン大使

訪新
沖沖

(昭 40. 12. 9) (昭 40. 11. 28)
(昭 40. 12. 10) (昭 40. 12. 4)

6. ラインワー大使訪沖
昭和40年
 ラインワー大使 由 12月7日 沖縄視察の
 帰途 沖縄に立ち寄り、外務省事務官
 松岡主幹と懇話した。
 松岡主幹との懇話では、主幹は遠く
 沖縄方面の問題の解決の努力をしてもらいたいとの
 主席の要請に対し、ラ大使は日米援助以外の
 問題については自分の権限外であるとして、其解決の
 表明を避けたと伝えられた。
 ラ大使は10日午後に出発し、北米団と会見
 (その日は主幹遠征問題について、外務
 省事務官の意見問題についての考え方を述べたこと
 を明らかにしたのみ)。公送の時期については
 現地の問題があるとして明言を避けた。又、日米
 協試委員会については、同協試委員の経費援助

以外のことについて協試委員との交渉将来の
 問題点を述べたこと伝えられた。
 7. ホルト陸軍次官神訪沖
昭和40年
 ホルト米陸軍次官神訪は11月28日、12月4日
 迄、沖縄に滞在し、米琉球社会協会の意見交換
 会(15日)、軍事基地の視察を行った。又、12月
 20日、琉球商工会議所主催の宴会会では「米軍と
 琉球列島」と題して講演を行った。沖縄の
 軍事基地はア27の段階上、不可欠の要素であると
 述べた。
 (別添3)

~~対沖繩援助に關する提議に對する日本側提議が
提出された。本提議は今後技術委員会に
検討される。11月中旬に開催予定の次回協定
委員会におき、日本側も合意された。
(此件資料送付済)~~

4. 自民党婦人試察団訪沖

自民党の草葉隆月(団長、参)、横山ワヲ(参)、
松山千恵子(参)、栗山秀(参)、大山勝幸(事務)
ら5名からなる婦人試察団が11月20日(土)沖繩視察訪問
団一行として12月20日(土)23日迄、沖繩に滞在し、
以下に有等事務官、松岡主席と合見、現地婦人
団幹部と懇談したほか、各地で講演した趣意を
あつた。